



3月の園だより

令和5年3月1日
目黒区立ひもんや保育園長

日差しや、風の暖かさに春がすぐそばに来ていることを子どもたちも体で感じ、園庭に出ると、遊んでいるうちにジャンパーを脱いで、「今日はあったかいね」と言っています。

1歳児クラスの子どもたちは外に出るときに玄関に座り一生懸命靴を履いています。靴をとり、中の靴下を取り出すと、手をグーンと伸ばし真剣な表情で靴下の中に足先を入れています。「上手にはけているね、今日はキリンさんの靴下なのね」と話しかけると、「うん」と笑顔になります。すると隣にいた子は「アンパンマンよ」と自分の靴下を見せてくれます。外に行く前の玄関でのおしゃべりも楽しいひと時です。以前はそばに行くと「はかせて」と言ってきた子も、今ではしっかりと靴下を持ち自分ではいている姿に成長を感じます。各クラス懇談会でも、とてもうれしそうに保護者の方がわが子の成長を話されていました。これからも子どもたちの成長と一緒に喜びあいたいと思っています。今月は卒園式が行われます。ひまわり組の子どもたちは小学校生活に期待しながら卒園の準備をしています。どのクラスの子も期待に胸を膨らませ、進級ができるように保育していきたいと思っています。

行事予定

ひなまつり（各クラス）

4歳児クラス懇談会

卒園式（5歳児クラス）

お別れ遠足（幼児クラス）

保育準備日

お別れ遠足（5歳児クラス）

お別れ会（全園児）

中旬 身体計測・避難訓練



もうすぐ卒園 ひまわり組

保育園で楽しかったこと

- ① ドッジボール
- ② ジオフィックス、お家ごっこ
- ③ あやとり

大きくなったらなりたいもの

- ① お店屋さん
- ② サッカー選手
- ③ 保育園の先生

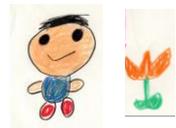
好きな給食ベスト3

- ① カレーライス
- ② ロールパン
- ③ うどん

子どもたちが大好きな遊び1位はドッジボールです。外野とジャンプトスは、ジャンケンで決めたり、チームで誰がいいか話し合ったりしながら決めています。負けると悔しくて涙を流すこともありますが、試合後、チームでどうやったら勝てるかを話し合い、「逃げてばかりではなくボールを取る」「力いっぱいボールを投げる」等子どもたちなりに勝つ方法を考えて意見を出し合う姿になりました。作戦会議をしているうちに、チームのために頑張ろうという気持ちも沸いてきたようで「もう負けても泣かない」と強い気持ちを持つ子もいました。勝ちたいという目標に向かって作戦を立て協力し、お互いに励ましあっている姿に、子どもたちの成長を感じました。



こころも からだも おおきくありません



つくし組(0歳児クラス)

園庭や散歩に出ると歩いたり這い這いしたりしながら探索し、葉や小石など見つけています。歩き始めた子も保育士のもとへ一歩一歩進んで「どーぞ」と見つけたものを渡してくれます。保育士が「どーも」とお辞儀をすると、膝をまげながら“どうも どうも”とペコっとお辞儀をしてくれます。その後、渡したものを“ちょうだいな”と小さな手を重ねているので「はい、どうぞ」と手渡すと、また「どうも」とお辞儀をしてくれます。保育士に可愛い仕草や喃語で思いを伝える子どもたちに寄り添いながら、心を通わせ楽しんできました。いろいろな経験を重ね保育士と一緒に楽しみ、見る、触れる、探索するなど身近な環境に自分から関わり、興味が広がってきました。

すずらん組(1歳児クラス)

牛乳パックの積み木を並べた小さなスペースをテーブルに見立て、チェーンリングやお手玉を器に入れご飯を作っています。その横にくま人形を座らせ「いただきます」と声をかけてくま人形にご飯を食べさせていました。くまの顔を覗き込んで「おいしいね」と言いながらタオルで口を拭いてあげています。また、くま人形を抱いて部屋を一回り歩くと「ただいま」と言ってくまを寝かせ布団を掛けて「ねんねこせ〜」と子守唄を口ずさんでいます。まるで小さなお父さん、お母さんです。ひとりひとりが好きな遊びを繰り返し楽しめるよう見守ってきた中で、子どもたちも生活で体験したことを再現して遊び、イメージしたことを盛んに話してくれるようになりました。

ちゅういっぷ組(2歳児クラス)

ままごとコーナーのお手玉など、具材を弁当箱に詰めて弁当を作っていた子が「ピクニックするんだ」とハンカチを敷いたところに座り、お弁当を食べ始めピクニックごっこを始めていました。それを見ていた子も「わたしも」とお弁当を作っています。保育士が「〇〇ちゃんも一緒にピクニックしたいんだって」と伝えると「いいよ、こっち座れるよ」と自分の隣に座るよう誘ってくれました。二人で並んでおしゃべりをしながらお弁当を食べは、にっこり微笑んでいます。友達と一緒に楽しいという気持ちが膨らんできています。イメージを友達と共有し、やりとりしながらごっこ遊びをすることが楽しくなってきました。

たんぽぽ組(3歳児クラス)

「オニきめ オニきめ だれがオニかな」とつま先を合わせて氷鬼の鬼を決めています。走るのも速くなり、保育士が追いかけて子どもたちが逃げる“追いかっこ”から、ルールのある“鬼ごっこ”を毎日楽しんでいきます。はじめはタッチされた時に「押した！」と怒ったり泣いたりすることもありましたが、「押してないよ。タッチしただけ」と友達に伝え、時には「ごめん」と言える姿も出てきました。楽しく遊ぶためにはどうしたらいいかを保育士も一緒に遊びながら子どもたちと考えてきました。ちょっぴり我慢することもあっても、ルールを守って集団遊びが楽しめるようになってきた子どもたちです。

こすもす組(4歳児クラス)

「どろけいしよう」と、友達を誘い合いながら、集団遊びを楽しんでいます。警察(鬼)になった子どもたちは「牢屋はここね」と声を掛け合ったり「挟みうちしよう」「私は見張りするね」等と自分たちでどうしたら全員捕まえられるのか考えを出す姿が増えてきました。また、鬼になりたかった子が鬼になれず、「嫌だ」と泣いていると「でもジャンケンで決めたんだから駄目だよ」と言う子や「どうしたの、大丈夫」と気遣い声を掛ける子もいます。友達と一緒に楽しさを共有する中で、思い通りにならないことはたくさんあります。その時は思いを主張するだけでなく、お互いの思いを伝え合えるように援助してきました。いろいろな葛藤を経験する中で友達の思いにも気づき、今では自分の気持ちに折り合いをつけられるようになってきています。